

特別支援学校の センター的機能



漢字と意味のかるた

小学校第3学年 国語の単元「漢字の広場」から、熟語と意味、読み方を結びつけやすくするカード教材です。



着せ替えいっくん・いっちゃん

学校生活に必要な着替えや衣服の調整を状況やスケジュールに合わせて指導する教材です。



- 怒りのバロメーター
- リラックス袋

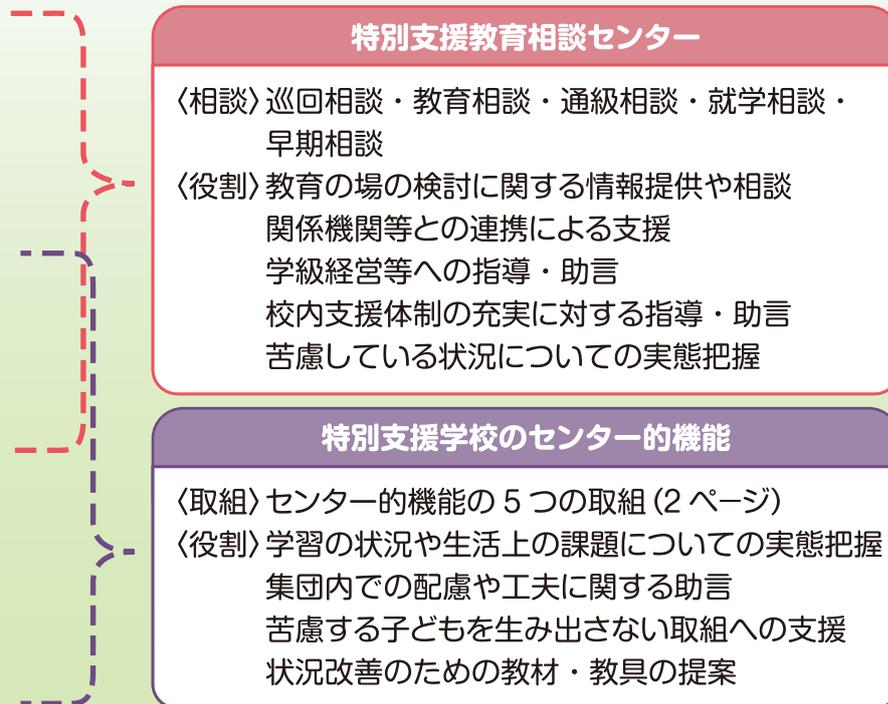
イライラする気持ちを数値化して、客観視できます。ゆっくり息を吐いてふくらませ、冷静になることができます。どちらも気持ちのコントロールに役立つ教材です。

特別支援教育相談センターと特別支援学校のセンター的機能との連携及び役割

子どもや学校に対する三段階の支援



教育的ニーズに対応する役割に応じた相談支援体制



「三段階の支援の図」については、石隈利紀「学校心理学」1999を参考に改編。

特別支援学校8校の連絡先

	学 校 名	住 所 ・ 電 話
東部地区 (門司区・小倉北区・小倉南区・戸畑区)	● 門司総合特別支援学校 【知的障害・病弱(心身症等)】	門司区矢筈町13番1号 TEL 372-6631
	小倉北特別支援学校【知的障害】	小倉北区下到津四丁目3番1号 TEL 592-2103
	小倉総合特別支援学校 【肢体不自由・病弱(慢性疾患等)】	小倉南区春ヶ丘10番3号 TEL 921-0075
	小倉南特別支援学校【知的障害】	小倉南区若園四丁目1番1号 TEL 921-5511
	北九州中央高等学園【知的障害】	戸畑区沢見一丁目3番47号 TEL 861-0112
西部地区 (八幡西区・若松区)	小池特別支援学校【知的障害】	若松区大字小敷583番地の1 TEL 601-1298
	● 八幡特別支援学校【知的障害】	八幡西区鷹の巣三丁目7番1号 TEL 641-8675
	八幡西特別支援学校【肢体不自由】	八幡西区下上津役四丁目8番2号 TEL 612-2210

● 代表校

特別支援学校のセンター的機能の5つの取組

地区別に特別支援学校の担当校が決まっています。担当校を確認して、ご相談ください。

1. 訪問相談・来校相談

- 学校・園等を訪問し、行動観察等による実態整理を行い、課題と取組の方向性を明確にします。また、校内支援体制や個別の指導計画作成への支援、幼児児童生徒への支援や指導方法等について相談に応じます。
- ケース会議等に参加し、必要に応じ関係機関の紹介や連絡調整をします。
- 来校する学校・園等の職員・保護者の相談を聞き、実態を整理し、課題と取組の方向性を明確にして在籍校・園での指導に生かします。

2. 移行支援

- 就学時健康診断から始まる小学校への移行支援や幼稚園等への支援を行います。
- 中学校の要請に応じて小学6年生の授業場面での行動観察の同行、協議会参加等を通して、小・中移行支援を行います。
- 必要に応じ関係機関の紹介や連絡調整を行い、個別の教育支援計画の作成や活用についての相談に応じます。

3. 公開研修会等の開催

- 研修会や教材教具活用展等を地域の学校・園等へ公開します。

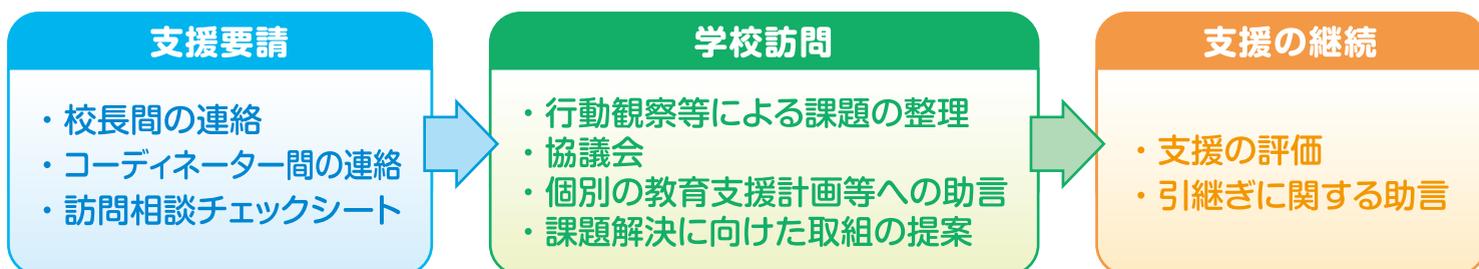
4. 研修会等への協力

- 学校・園等の校内研修会や地域の研修会の相談に応じます。
- 特別支援教育コーディネーター連絡会議に、助言者として参加します。

5. 教材等の紹介や貸出、情報発信

- 検査器具、書籍、教材等の紹介や貸出を行います。
- 検査後の結果処理や指導に生かす方法の相談に応じます。
- ホームページ等で、センター的機能に関する情報や教材等の紹介を行います。

- 訪問相談の流れ ※要請時に必要な【訪問相談チェックシート】は、担当の特別支援学校のHPからダウンロードできます。

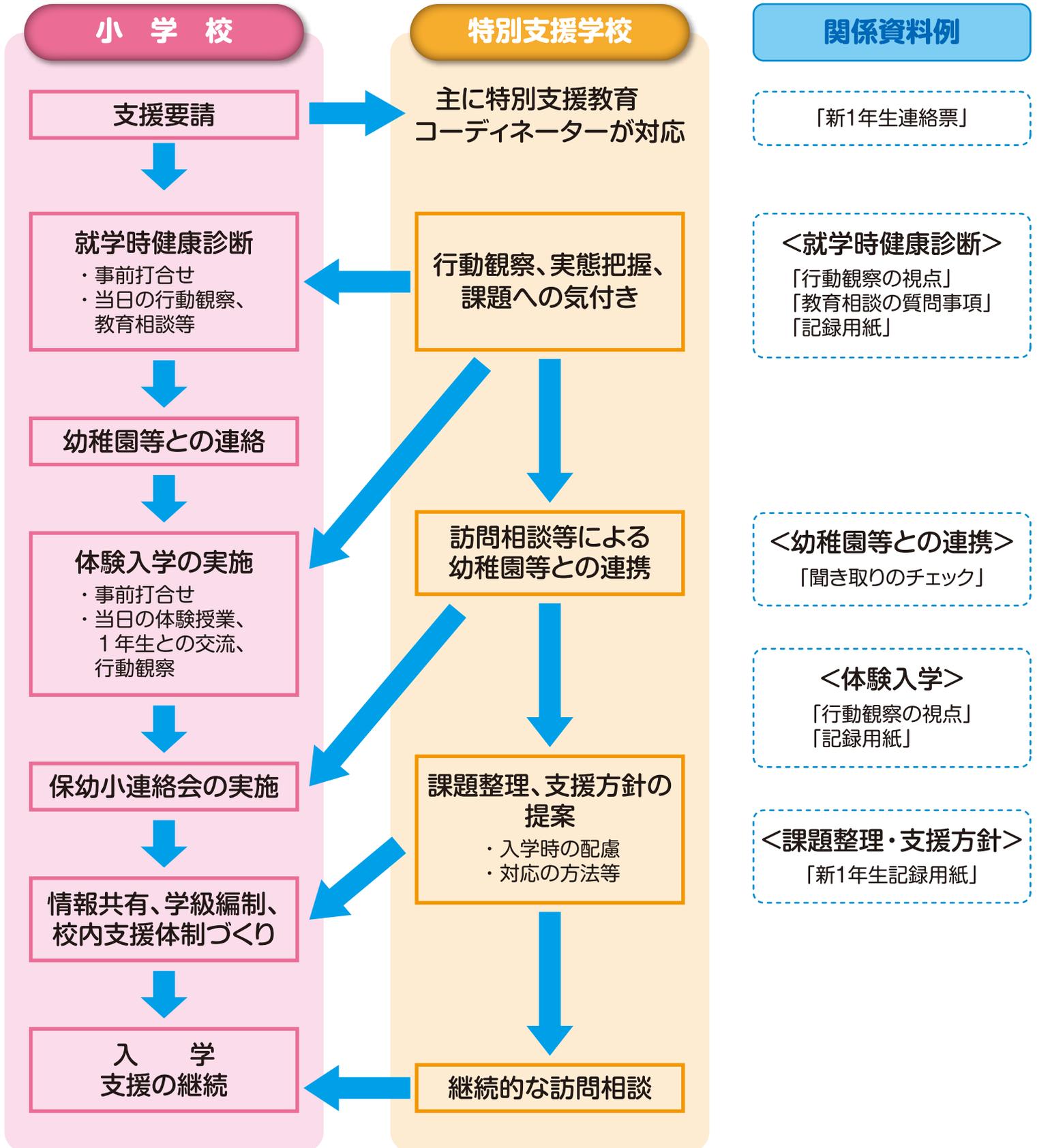


詳しくは、担当の特別支援学校までご連絡ください。

就学前から始める移行支援

幼稚園・保育所等から小学校へのスムーズな移行を支援するために、就学時健康診断から始まる移行支援や幼稚園等への支援を行います。

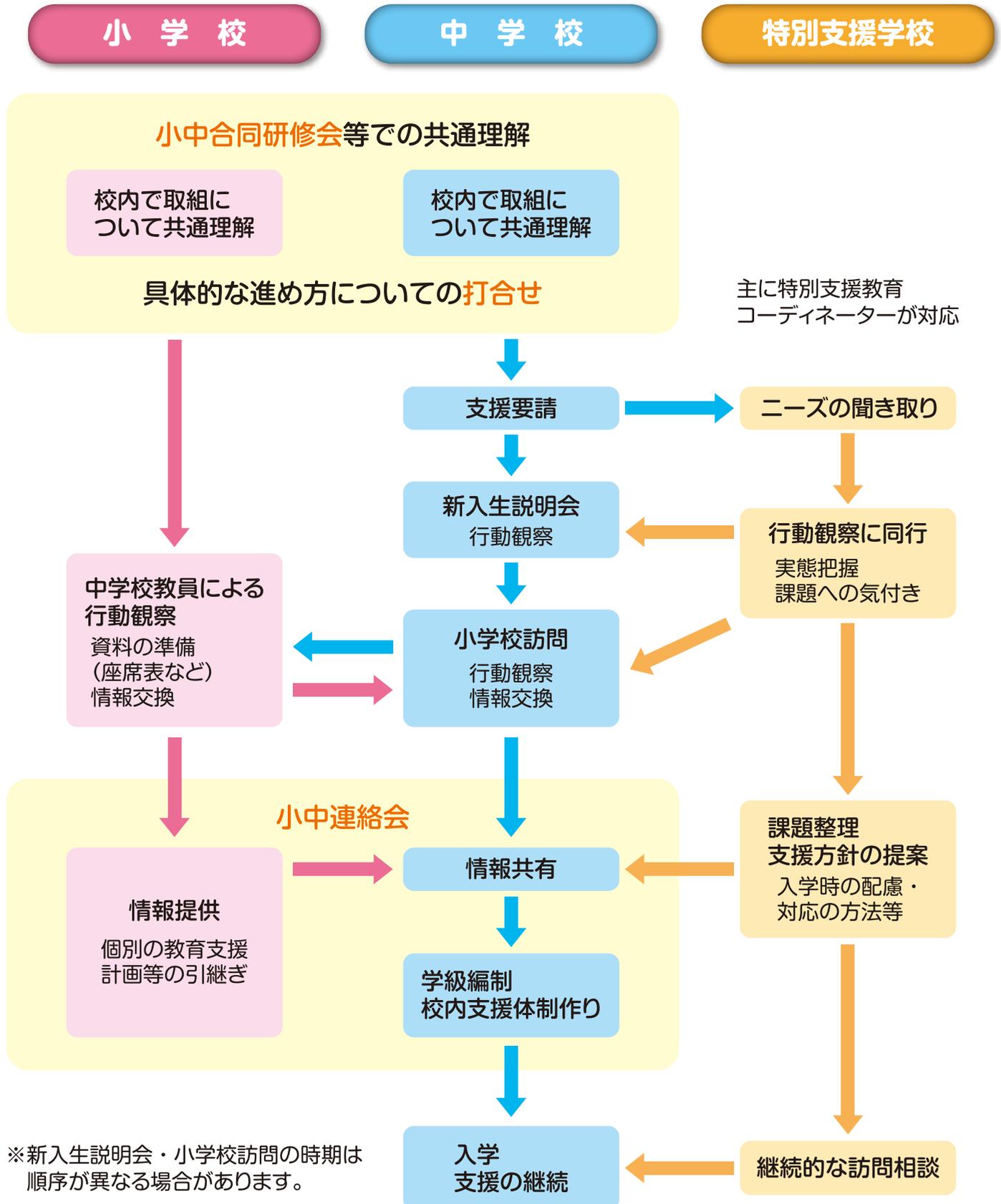
< 取組の一例 >



小学校から中学校への移行支援

小学校から中学校へのスムーズな移行を支援するために、中学校の要請に応じて、小学校6年生の授業場面での行動観察、協議会等を通して、小・中移行支援を行います。

< 取組の一例 >



※新入生説明会・小学校訪問の時期は順序が異なる場合があります。

公開研修会（平成31年度は7月下旬開催予定です）

■ 東部地区では、手作り教材の作成・活用方法紹介のワークショップを行います。



感覚運動遊び教材の「ひらひら花びら」「とんでけチューブ」「ストロー吹き矢」「ねらってびょーん」等を作っている様子

<30年度の内容> 参加者：幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校 計130名

- ①オリエンテーション（全体）
- ②講話・演習（グループ別）：5種のオリジナル教材の作り方・使い方実演
- ③演習：教材の作成（5種の中から希望）と情報交換
「感覚運動遊び『遠くへ飛んで行け』」、「ていねいな言葉を使おう」、「怒りのバロメーターとリラックス袋」、「気持ちを落ち着けるすごろく」、「着せ替えいっくん・いっちゃん」、「漢字と意味のかるた」

～参加者の感想～

- ・指示を具体的に子どもに伝えたり、子どもが自分から簡単に練習を重ねたりする手立てやアイデアがいただけました。工夫してより子どもに合うものになるよう考えてみます。
- ・一つの教材で、いろいろな使い方ができるので実用的です。

教材の作成手順等は、小倉南特別支援学校のHPで見ることができます。

■ 西部地区では、学習に基礎となる力を伸ばすトレーニングの体験や教材作りを行います。

<30年度の内容> 参加者：小学校・中学校・特別支援学校 計116名

- ①講話「学習に向かうための力について」
- ②演習「学級で取り組めるトレーニング」
パワーポイント教材・プリント教材の紹介
- ③演習「すぐに使える教材作成」
枠わくでっぱりなぞり・漢字・ひらがなシート
10のおばけ『クネクネくん』

～参加者の感想～

- ・子どもの気持ちになって聞いたり、字を読んだりしてみて、こんな風に困っている子がいるんだなと勉強になりました。
なぜできないのか“背景”を探って、工夫していきたいです。



パワーポイント教材「まねっこ体操」にみんな
で挑戦

パワーポイント教材は、八幡特別支援学校のHPからダウンロードできます。

教材の紹介

30年度の公開研修会で作成した教材です。（表紙にも他の教材を紹介しています。）



枠わくでっぱり漢字シート

枠からはみ出すと「カクッ」と鉛筆が落ちる感覚が手に伝わり枠内に書くための注意喚起を促す教材です。



10のおばけ『クネクネくん』

10の合成・分解の教材です。バラバラにならないので操作がしやすいです。

教材の作り方や使い方、検査器具などの貸出については、各地区の特別支援学校にご相談ください。